

■解説員室より

『たいけん教室』

私たち解説員が主に小学生のみなさんを中心に行っている催し物に、『たいけん教室』があります。毎週日曜日の午後1時から、およそ1時間半ほどのこの教室では、“化石のレプリカ”や“土偶”をつくったり、松ぼっくりや草花を用いた工作をしたり、“みずきだんご”の正月かざりなどの年中行事をしています。1年間に50回ほど開催しており、上記のようなさまざまな内容をプログラムとして準備しています。

『たいけん教室』に参加するみなさんは学校行事で博物館を見学したり、学習利用をする機会が増えてくる年齢層です。展示室では、たくさんの資料で岩手県の自然や歴史・文化を紹介していますので、多くのことを勉強してもらえれば

と思います。

ところで、『たいけん教室』は展示資料に関連つけたプログラム内容も多く、岩手の自然や歴史にまつわる工作や、岩手の文化に触れる年中行事を体験することを盛り込んでいます。教室の最中には実際に展示室へおもむき、プログラムに関係のある資料やコーナーの説明も行っていますので、『たいけん教室』に参加していただくことによって博物館資料への理解も深めていただけることと思います。

教室は開館当初から続いており、近年ではこの教室だけを目的に来館される利用者も多くなってきました。しかし、参加していただける人数にはかぎりがあります。せっかく来館していただいても希望者全員を受け入れられないこともあり

ました。そこで、館では平成24年度から事前予約により『たいけん教室』の参加者の募集をすることにいたしました。興味をひかれるプログラムがありましたら、まずはお電話か直接ご来館のうえ、参加のお申込みをさせていただきますようお願いいたします。



『たいけん教室』“こはくの玉づくり”のときの作品

(解説員 石川依子)

■事業報告

冬の写生会

写生会 平成23年12月17日(土)～平成24年1月15日(日)

作品展示 平成24年1月28日(土)～平成24年2月19日(日)

岩手県立博物館では、12月17日から1月15日の期間に、小学校の冬休み期間に合わせた写生会を開催しました。

松園地区周辺の小学生、幼稚園児、保育園児に県立博物館から見える景色や展示資料の素晴らしさを紹介することで、博物館に更に親んでもらおうという目的で始まった冬の写生会ですが、今年で6年目となりました。



絵を描く子どもたち



たくさん子ども達がグランドホールから見える岩手山やマメンキサウルス、兜跋毘沙門天立像をテーマにお絵かきを楽しみました。

完成した作品は、1月28日から2月19日の期間にグランドホールにて展示しました。今年は26名の子ども達の絵が並び、いつもと違った博物館の展示になったのではないのでしょうか。

参加していただいた小学生、幼稚園児、

保育園児には、記念品として当館オリジナルカレンダーをプレゼントいたしました。県立博物館に親んでもらうためにも、今後も写生会を継続していきたいと考えおります。次回も多くの参加をお待ちしています。



作品展示の様子

(総務課 松尾健生)